

東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

山形県寄附講座

アジアビジネス 人材養成講座

2015年10月 開講予定

東北公益文科大学大学院
公益学研究科修士課程
入学案内 2015

アジアビジネスの 中核を担う人材を養成

東北公益文科大学
学長 吉 村 昇



本大学院修士課程では、このたび 山形県からの寄附講座として、新たに「アジアビジネス人材養成講座」を開設いたします。

現代の社会は、経済活動を中心にあらゆる面でグローバル化が進んでおります。とりわけ、経済成長著しいASEAN等アジア諸国とのビジネス展開は、地域の企業にとっても大きな成長のチャンスと言えます。

本講座では そうした状況を踏まえ、グローバルな視野と経営の知識を持ち、ASEAN等アジア諸国とのネットワーク形成とビジネス展開の中核を担い、地域経済の発展に寄与する人材を養成いたします。

講座の特長として アジアビジネスの展開を見据えた専門科目の配置はもちろんのこと、グローバル化に対応するため、ビジネス英語の集中プログラムや 英語による講義を盛り込んでいます。また、海外インターンシップにより 現地でのビジネスの現場を体感する機会も用意するなど、実際のビジネスを意識した内容になっています。

本講座がアジアビジネスを志向する皆様のお役に立ち、その結果 地域経済の発展に寄与することができれば、これ以上の喜びはありません。多くの皆様が本講座を受講し活躍されることを心より期待しております。

対象者

企業・団体等の経営幹部、社員・職員及び個人で、次のような意向を持った方を対象としております。

- アジア諸国等海外とのビジネスを担当している方または担当予定の方
- アジア諸国等海外へ進出し、ビジネスを行いたいと考えている方
- 上記ビジネスの支援を行う方
- 経営について体系的に学びたい方
- 起業を考えている方
- ビジネスに必要な英語力の向上を図りたい方
- 海外赴任の可能性がある方

身に付ける知識・スキル

- 経済、金融、労働及び歴史・文化など アジアビジネスに必要な知識や最新の動向
- ビジネス展開の土台となる産業、組織、戦略及び財務など経営に関する専門的な理論
- アジア(国際)ビジネスに必要な交渉力や危機管理能力
- 実践的なビジネス英語力
- 国際的なビジネス感覚

講座の特長

1 アジアビジネスの展開を見据えた実践的な科目群

ASEAN等アジア諸国は、近年経済成長が著しく、東北に拠を構える企業においても 今後のビジネスパートナーとなる可能性が非常に高い国々です。歴史・文化から、経済、人材マネジメント、英語力まで、本講座には アジアビジネスにおいて必要となる知識・スキルをトータルに学ぶ科目を用意しています。理論的かつ実践的な学びを通して、アジアビジネスの中核となる人材を養成します。

2 ビジネスマネジメントについて体系的に学ぶ

本講座には、ビジネス展開の土台となる産業、組織、戦略および財務など、経営に関する専門的な理論を学ぶ科目も用意しています。企業の経営者や幹部候補者等の方で、経営について体系的に学びたい方にとても有益なカリキュラムです。

3 ビジネス英語の集中プログラムと英語による講義

グローバルなビジネス活動の中で英語力は必須のスキルです。実践レベルの英語力を身に付けることができるよう、外国人教員による英語力養成の集中プログラム(EAP※)を用意しています。また、中核をなす6つの科目の講義は原則英語で行います。

※EAP… English for Academic Purposes

4 海外インターンシップでビジネスの現場を体感

アジアビジネスの実態を現地の企業に赴くことで体感していただきます。講義で得た知識やスキルを実践する機会であり、また 講義だけでは修得し得ない 生きた経験を体感する機会となります。修士課程修了後のビジネス活動にもプラスになるプログラムです。

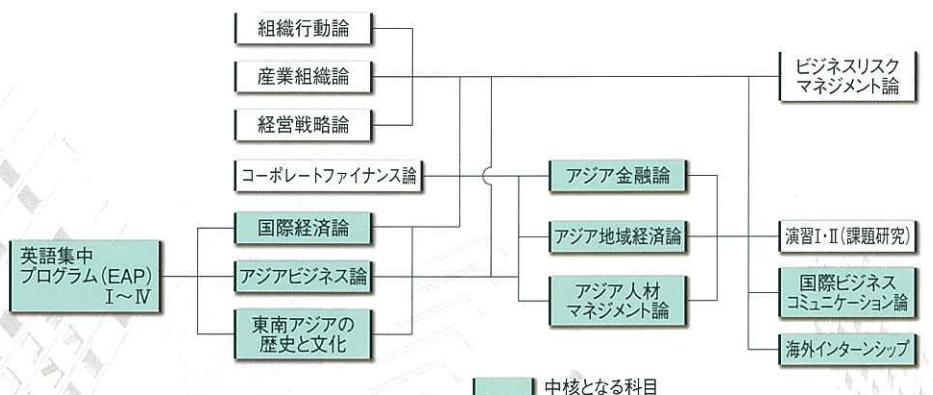
5 働きながら学ぶ

社会人の就学に配慮し、原則 金曜の夜間と土曜日に授業を配置します。また、主要な科目は1年程度で集中的に学びます。

6 異なる年代や業種の方との交流、ネットワーク形成

本講座は、社会人の方を多く受け入れる体制を整えており、学びの場が 異なる年代や業種の方との交流・ネットワークの形成の機会にもなります。

カリキュラムチャート



担当教員プロフィール



教授／井手秀樹

山口大学経済学部卒業、神戸大学大学院経済学研究科単位取得退学。三菱総合研究所、神戸学院大学を経て、1996年慶應義塾大学商学部教授。2015年慶應義塾大学名譽教授。公益事業学会会長(2013年～)、ビジネスブレークスルー大学客員教授、原子力発電環境整備機構(NUMO)理事、情報通信審議会委員、独占禁止懇話会座長代理、東京都水道局事業問題研究科座長など多数。



准教授／ジハン・シャザダナイヤール

Punjab University 商学科卒業、Punjab University 商学科修士課程・経済学修士課程・政治学修士課程修了、小樽商科大学大学院商学研究科修士課程修了、北海道大学大学院経済学研究科博士後期課程修了を経て、Canadian School of Management IGS-US 客員講師、Punjab University 大学院助教授、University for Applied Sciences Germany 客員教授、FOX Business School, Temple University 客員教授、立命館アジア太平洋大学助教授、東北大学国際教育院准教授、長崎大学大学院経済学研究科准教授、European Union Erasmus Mundus Fellow、日本学术振興会 PD Fellow など。



助教／バンティング・ティモシー

インターナショナルバンティック大学国際学部国際学科卒業、ヴィクトリア大学ウェリントン校大学院言語学・応用言語学研究科修士課程修了を経て、メーキング・フェューチャーズ・ハップン・インスティチュート英語講師、山形県庄内町教育委員会外国語指導助手、ザ・キャンベル・インスティチュート(ウェリントン)英語講師、イングリッシュ・ティーチング・カレッジ(ウェリントン)英語講師。ウェブサイトや本などの翻訳も手がける。

●協力教員



教授／水田健輔



准教授／スルトノフ・ミルゾサイド

科目概要

アジアビジネス論*

グローバルな経済環境においてアジアは有望な新興市場である。日本企業がアジア地域に事業を展開していくために必要なことは何なのか。アジアのビジネス環境、消費市場、最近の動向をはじめ、アジアの社会構造、ビジネス慣習と価値観などの相違などを解説とともに、進出企業のアジア戦略の具体例などについても学ぶ。

本科目の講義については、フィデアホールディングス株式会社ならびに莊内銀行様のご支援により行います。

アジア地域経済論*

第二次大戦後大きく発展したアジア経済は、「アジアの奇跡」とまで言われ、世界の成長センターに浮上している。この発展の要因はなんであったのか、中国とASEAN諸国を中心にアジア経済の発展の特徴や実態と直面する様々な課題を取り上げ、今後のアジア地域のビジネス環境について考察する。

国際経済論*

現代のわが国の経済は、貿易、資本の輸出入、国外為替取引等を通じて、国際的な相互依存関係が緊密化している。この講義では、国際貿易システム、国際通貨体制、通商政策を中心に、現実の国際経済の動きを説明する。また、随時開放経済モデルの経済理論についても触れる。

東南アジアの歴史と文化*

東南アジアの歴史を学び、我が国とのかかわりを考察する。又、東南アジアの様々な文化や習俗、宗教について学び、各国の人々に対する理解を深める。

産業組織論

資本主義経済における市場メカニズムについて、ミクロ経済学における価値理論や現実の産業組織や企業行動、政府の経済政策などから分析する。規制緩和、企業間の連携・合併、各産業のシェア争い、広告競争、内外価格差等、現代産業に特徴的な市場システムにかかる問題を扱う。

コーポレートファイナンス論

企業経営において、いかにして資金を調達し、投資すれば良いか、つまり、どのようなルートで資金を調達し、どのような事業・設備に投資をして事業を行い、得られたリターンをどのように配当すればよいか。企業価値の最大化を図るために、資本構成、投資決定、株主還元の意思決定のあり方を学ぶ。

ビジネスリスクマネジメント論

企業が長期的にわたって存続していくためには、経営戦略を成功に導くためのリスクマネジメントが重要である。

企業経営を取り巻く、又は直面するリスクを概観し、リスクマネジメントの手法、組織における担当部署の位置づけ等を学ぶ。又、新興国や発展途上国に事業展開する上のリスクマネジメントについても把握する。

海外インターンシップ

アジアに進出している日本企業又は現地企業において、概ね2週間のインターンシップを体験し、アジアビジネスの実態を知る。

アジア金融論*

アジア通貨危機を経験し、東アジアでは金融システムの重要性が再認識されてきている。アジア各国の通貨制度や金融・資本市場、アジアにおける決済システム等の金融インフラを概観し、アジア金融の構造的変動を探る。又、今後のアジアの通貨制度の方向性やアジア金融システムの動向等についても検討する。

アジア人材マネジメント論*

アジア諸国の労働市場の実態を概観し、アジアの労働市場における特徴をアジア地域の経済システムの中に読み解く。その理解を踏まえ、域内の多国籍企業、邦人企業、ローカル企業の人事、労務管理の相違点を検討し、双方にふさわしい人的資源管理を探る。

国際ビジネスコミュニケーション論

国境を越えたビジネスを行う上で必要な、国際ビジネスコミュニケーションの実際を学ぶ。多文化かつ多国籍の組織における人間行動とマネジメント、効果的なコミュニケーションのあり方、異文化間交渉のあり方、国際ビジネスにおけるプロトコルなどについて学ぶ。

組織行動論

組織の中で働く個人の行動について学ぶ。組織の中でどうすれば人材を活用してうまく仕事をさせることができるのか。モチベーション、個人の意思決定、集団行動、リーダーシップ等についての理論を学ぶ。

経営戦略論

企業が競合他社に対し、「自社の強み」を生かして経営を行なうためには、自社の内部及び外部環境の分析に基づいた適切な経営戦略の策定が必要である。様々な分析手法や経営戦略論の理論の習得から、全社戦略、競争戦略の策定と遂行のプロセスを中心に学ぶ。

英語集中プログラム(EAP) I~IV

外国人教員により、ビジネスにおける実践レベルの英語力を身に付ける。また、あわせて、英語で行なう講義に向け力を養う。

*印のある科目は、原則英語で講義を行います。科目の内容については変更となる場合があります。

学位等

修了者には、修士（公益学）の学位が授与されます。また、所定の科目を履修した方には、修士の学位とは別に「アジアビジネス人材養成講座修了証」を交付します。

入試概要

●方法

| 課程 | 試験区分 | 出願条件 | 試験科目 |
|-------------------------|-------------------|---------------------|------|
| 公益学研究科 公益学専攻 修士課程 | アジアビジネス 特別選抜試験 | 四年制大学を 卒業された方(※) | 面接試験 |

※四年制大学を卒業されていない方でも、個別の資格審査等により出願可能な場合がありますので、お気軽にお問い合わせください。

●日程

| 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 入学手続期間 |
|------------------------|---------|----------|-------------------|
| 2015年8月10日(月)～8月28日(金) | 9月6日(日) | 9月10日(木) | 9月10日(木)～9月18日(金) |

入試についての詳細はお問い合わせください。

入学時期

2015年10月1日

納付金

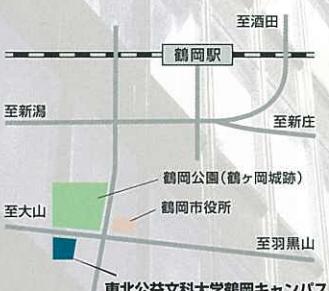
初年度納付金

| 項目 | 年額 | 支払時期 | |
|-------|-------------------|----------|----------|
| | | 入学手續時 | 2016年4月 |
| 入学金 | 初年度のみ 200,000円 | 200,000円 | — |
| 授業料 | 500,000円 | 250,000円 | 250,000円 |
| 施設整備費 | 100,000円 | 50,000円 | 50,000円 |
| 合計 | 800,000円 | 500,000円 | 300,000円 |

※企業等からの派遣入学者の入学金は100,000円です。

※学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帶賠償責任保険料、海外インターンシップ(希望者)の費用は別途必要です。

アクセス・問い合わせ先



 東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

◆鶴岡キャンパス(大学院)

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1 TEL0235-29-0555

URL <http://gs.koeki-u.ac.jp> e-mail:gs@koeki-u.ac.jp

◆酒田キャンパス(公益学部)

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 TEL0234-41-1111

URL <http://www.koeki-u.ac.jp>